

春の叙勲 県内113人

春の叙勲に県内から113人が選ばれた。受賞したのは次のみなさん。(敬称略) 洋数字は年齢。氏名は朝日新聞の表記による。中線以上は特設面で紹介

旭日小線章

【仙台】熊谷善夫72(地方自治)▽鈴木忠76(名誉賞)▽三井博72(名誉賞)【大崎】栗田彰71(地方自治)

瑞雲小線章

【大崎】青沼明徳71(農林水産行政事務)【角田】伊藤敬一郎79(警察)【大和】大崎勇70(法務行政事務)【仙台】猪股武俊76(警察)▽内海陣男71(裁判官)▽高西春雄73(教育)▽川合政70(裁判所事務)▽木内国男76(郵政事務)▽工藤隆84(鉄道事務)▽小松正美70(郵政事務)▽佐々木勝司71(郵政事務)▽佐藤三之七2(教育)▽在野喜博70(運輸行政事務)▽末冬昭信70(郵政行政事務)▽宮原光70(地方自治)▽鈴木孝夫71(労働)▽副島毅70(運輸行政事務)▽高橋優一70(地方自治)▽向山仁70(税務行政事務)【宮城】宮原尚吾70(総務行政事務)【七ヶ浜】鈴木昭紀70(総務行政事務)【栗田】高橋勇治71(文部行政事務)

旭日双光章

【鹿角】遠藤文助72(地方自治)【東松島】大森栄治郎76(同)▽坂井茂87(同)【仙台】川村常雄71(保健衛生)▽深松勇71(建設業)▽藤原真行70(土地開発)▽矢野弘文72(建設業)【登米】佐藤豊86(地方自治)【愛仙台】佐藤種子70(同)【西三陸】千

瑞玉双光章

【仙台】遠藤信78(保健衛生)▽及川勲71(看護業務)▽大内修道70(社会福祉)▽岡崎庄蔵76(スポーツ振興・教育)▽奥田豊81(保健衛生)▽小沢剛77(厚生行政事務)▽小野寺毅71(教育)▽片谷尚周70(通商行政事務)▽加藤れ

苦しいときこそ社員大事に

旭日双光章、深松組会長
深松 勇さん



仙台市の建設会社「深松組」を約40年にわたって率いてきた。同親と従業員が3人で始めた会社は、100人以上が働く規模に成長した。「苦しいときもあつたがリストラはゼロ。人を大切にできたことが誇りです」と振り返る。

1970年代の石油危機では、原材料費の高騰で鉄筋などの資材が何日も届かず工期が延び、赤字の仕事が増えた。経営は苦しかったが、社員の給料は下げたくない。銀行からの借り入れでどうにかしのいだ。

経営を安定させようと、不動産事業に参入した。公

共事業の抑制などで建設業界は縮小したが、いま900戸ある賃貸住宅が収益を下支えしてくれている。東日本大震災では、大勢の社員が街に飛び出し、震災当日の夕方から、道路をふさぐがれきの撤去に汗をかいた。「社員も被災したのに、よくやってくれた。苦しいときを一緒に乗り越えてきたまものです」

い87(教育)▽松橋賢次83(保健衛生)▽森村信吉70(国土交通行政事務)【豊光】大内泰弘75(教育)【栗田】加茂代子76(更生保護)【名取】菊地眞男87(地方自治・教育)【気仙沼】熊谷芳伯76(教育)【石巻】西條慶三88(地方自治)【大河原】佐藤誠85(労働行政事務)【栗原】佐藤政子80(学校保健)【女川】鈴木正文70(消防)【松島】大宮司光生75(教育)【多賀城】中野鉄正70(国土交通行政事務)【大崎】福原俊徳70(更生保護)【山

深松勇氏らが受章

15年春の叙勲 交省

国土交通省は、2015年春の叙勲受章者を発表し、東北の建設関連では、深松組会長の深松勇氏（仙台市）、汎建築設計事務所代表取締役の鈴木誠一氏（秋田市）、高橋建築設計事務所代表取締役の高橋金敏氏（岩手県花巻市）、横島左官工業社長の横島豊治氏（青森市）らが旭日双光章を受章。伝達式は5月11日

に東京都港区の東京プリンスホテルで行う。

主な受章者は次の通り（敬称略）。

【旭日双光章】
▽鈴木誠一（秋田市、汎建築設計事務所代表取締役、元秋田県建築士事務所協会会長）
▽高橋金敏（岩手県花巻市、高橋建築設計事務所代表取締役、岩手県建築士会副会長）
▽深松勇（仙

台市、深松組会長、元宮城県建設業協会理事）
▽横島豊治（青森市、横島左官工業社長、元青森県左官業組合連合会会長）
【瑞宝小綬章】

▽荏可喜博（仙台市、元第一港湾建設局長）
【瑞宝双光章】
▽森村信吾（仙台市、元東北地方整備局総務部総括調整官）
【瑞宝単光章】
▽池田俊雄（福島県いわき市、五栄土木職長）
▽小松公謙（秋田県由利本荘市、山二建設工業工事部次長）
▽齋藤昭作（秋田県横手市、元いづつか常務取締役）
▽佐々木定弘（宮城県亶理町、元日本電設工業東北支店仙台支社長）
▽佐藤芳郎（宮城県登米市、河北建設職長）

建設新聞2015年4月29日掲載

深松氏に旭日双光章

【審の叙勲】 県内113人受章

県は29日に発令する春の叙勲受章内定者を公表した。県内では元宮城県建設業協会理事の深松勇氏（仙台市青葉区・深松組会長）ら113人が受章する。

深松氏は建設業振興功勞として旭日双光章を受章する。同氏は地元建設業として社会基盤整備に尽力し、2年から

は同協会の土木委員長として土木工事の施工改善などに努めた。12年に建設大臣表彰、17年に黄綬褒章を受章している。

建設業界からは河北建設（仙台市太白区）の社長・佐藤芳郎氏（登米市）も、専門工事業務功勞として瑞宝単光章を受

章する。57歳の佐藤氏が、今回の県内受章者の最年少となる。

本年度の春の叙勲は、全国で4087人が受章する。勲章の伝達式および拝謁は5月7日から順次、江陽グランドホテル（仙台市青葉区）などで行われる。

建設関係業界の主な受章者は次の通り（敬称略）。

◇

【叙勲受章者】

- ▽深松勇（旭日双光章）
- || 元宮城県建設業協会理事）▽星貞行（旭日双光章）
- || 元宮城県土地家屋調査士会会長）▽莊司喜博（瑞宝小綬章）
- || 元第一港湾建設局長）▽菅原敏光（瑞宝小綬章）
- || 元県出納局長）▽副島毅（瑞宝小綬章）
- || 元第三港湾建設局神戸港工事事務所長）
- ▽森村信吾（瑞宝双光章）
- || 元東北地方整備局総務部総括調整官）▽佐々木定弘（瑞宝単光章）
- || 元日本電設工業東北支店仙台支社長）
- ▽佐藤芳郎（瑞宝単光章）
- || 河北建設職